

## 【テーマ6】 団体名：国立大学法人京都教育大学

「教員の資質能力を高め、創造性豊かな働き方を提案するeラーニングの開発と実践」

### 調査の概要

#### ◆課題認識

- ・教育現場では、情報化の遅れや働き方改革の推進など、社会的課題が多く見られる。
- ・現場に出た後、各教員が自身の資質・能力を高める機会が十分に確保されていない。

#### ◆調査研究の目的

- ・教員の資質能力を向上させる情報化や創造性豊かに働くことを関連したeラーニングの開発

#### ◆調査研究の方法

- ・京都教育大学附属桃山小学校で開発した、動画コンテンツ視聴後にアンケート調査を実施し、結果を数値化し、研修プログラムの効果検証を行う。

#### ◆調査対象

- ・小学校教諭、養護教諭、中学校教諭 100名

#### ◆現状

- ・新しい時代の働き方が組織としても個人としても浸透しておらず、コロナの状況下でなかなか対面式の研修が行えないという現状がある。

### 取組のポイント・成果

#### ◆取組のポイント

##### ①ポイント1

本校の教育の情報化や創造的な働き方の知見と、Google for education社が持つ効率的で創造的な働き方を涵養する研修の知見の融合

##### ②ポイント2

Web型研修の実施により、時間や空間にとらわれない研修参加を実現

##### ③ポイント3

GIGAスクール実施を控え、時代の先を行く先進校の事例から具体的な教師の働き方を学ぶことができる

#### ◆成果

- ・eラーニング教材として、「業務の効率化」、「クリエイティブな働き方」、「外部との連携」というテーマの動画（30分×3本）を作成し、公開した。
- ・作成した動画をより多くの人に視聴してもらうためにチラシや専用HPを開設し、3本で500再生以上、それぞれ約100名からアンケートの回答を得た。
- ・アンケート結果から満足度の高い動画研修であるという数値の結果が出た。それぞれの動画で90%以上が「参考になる内容があった」と回答している。



### 今後の課題

#### ◆コンテンツの充実及び公的な研修化への働きかけ

- ・教師の資質能力を向上させるために、具体的な授業、校務に関する動画コンテンツを作成し、内容の充実をはかる。
- ・公的な研修にするために、オンラインとリアルハイブリッド型の研修パッケージを提案し、実施を行う。